

2014 AUTOBACS SUPER GT Round 6 43rd International SUZUKA 1000 km

2014年8月30日(土)~8月31日(日)

決勝 レポート

173 Laps



場所: 鈴鹿サーキット(三重県) 1周 5.807 km

天候: 晴れ / コース: ドライ / 気温: 27°C / 路温: 42°C / 観客動員数: 36,000 人

9位で決勝を終えるが、貴重なポイントを獲得

2014年 SUPER GT 第6戦の決勝が鈴鹿サーキット(三重県)で行われた。昨日よりも雲は多いが晴れの1日となった。前日の予選は、残念ながら予選4位に終わったが、チームは表彰台中央を目指し、出来る限りの準備を施し決勝に臨んだ。

8月31日(日)

<決勝 173LAPS / 12:15~>

#61 SUBARU BRZ R&D SPORT は佐々木孝太がスタートを担当した。佐々木は、何とかポジションをキープしようと絶妙なスタートをするが#3 GT-Rに抜かれ、1周目は5位で戻ってくる。2周目以降も佐々木は GT-R をかわし上位車両に付いて行こうと周回を重ねるが、逆にストレートの速い GT-3勢に抜かれポジションを下げてしまう。チームは早めのピットインを決断して、19周目、1回目のピットイン。タイヤ交換、燃料補給、ドライバーを井口卓人に交代しピットア



www.rdsport.net

ウト。井口は安定した走り続けるが、なかなかラップタイムが上がらない。タイヤの消耗が思ったよりも激しく、チームはタイムを抑えた走りに徹する様に指示。47周目、井口から佐々木へ、74周目には佐々木から井口へ、105周目に井口から佐々木、136周目に佐々木から井口に代わり、9位でチェッカーを受ける。なお、GT500クラスの優勝は#36 PETRONAS TOM'S RC Fが、GT300クラスは#60 TWS LM corsa BMW Z4が制した。



■本島監督 コメント



ドライバーもメカニックも素晴らしい仕事してくれました。しかし、前戦の富士での優勝でハンディウエイトも増え、厳しいレースになる事は覚悟していたのですが、想定以上にタイヤに負担をかけてしまいました。今一度じっくりデータを見て、問題点を洗い出しておきたいと思います。暑い中、最後まで応援して下さいました多くファンの方々には大変感謝しております。次戦、タイも頑張ります。

■佐々木 孝太 コメント



どうしても勝たなかったレースでした。得意としている鈴鹿、僕の地元でもある鈴鹿。でもまだチャンスはあります。チャンピオンへ向けて残り2戦を全力で戦いたと思います。

■井口 卓人 コメント



朝のフリー走行からセッティングを進め、良い方向性を見つけて行くことが出来ました。予選も車のバランスは悪くなく、僕達のベストを尽くせたと思いますし、日曜日の朝のフリー走行も良いバランスで走行する事が出来ました。しかし、決勝レースは予想外に苦戦をしてしまい、車、タイヤ、ドライバーにとって非常にタフなレースになりました。優勝するために鈴鹿に行きましたが、それが叶わなかったので応援して頂いた皆さんに、申し訳ない気持ちでいっぱいです。もっとステップアップ出来る様に、努力して行きたいと思います。引き続き応援宜しくお願い致します。

予選・決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/> もご覧ください

2014年8月31日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net